

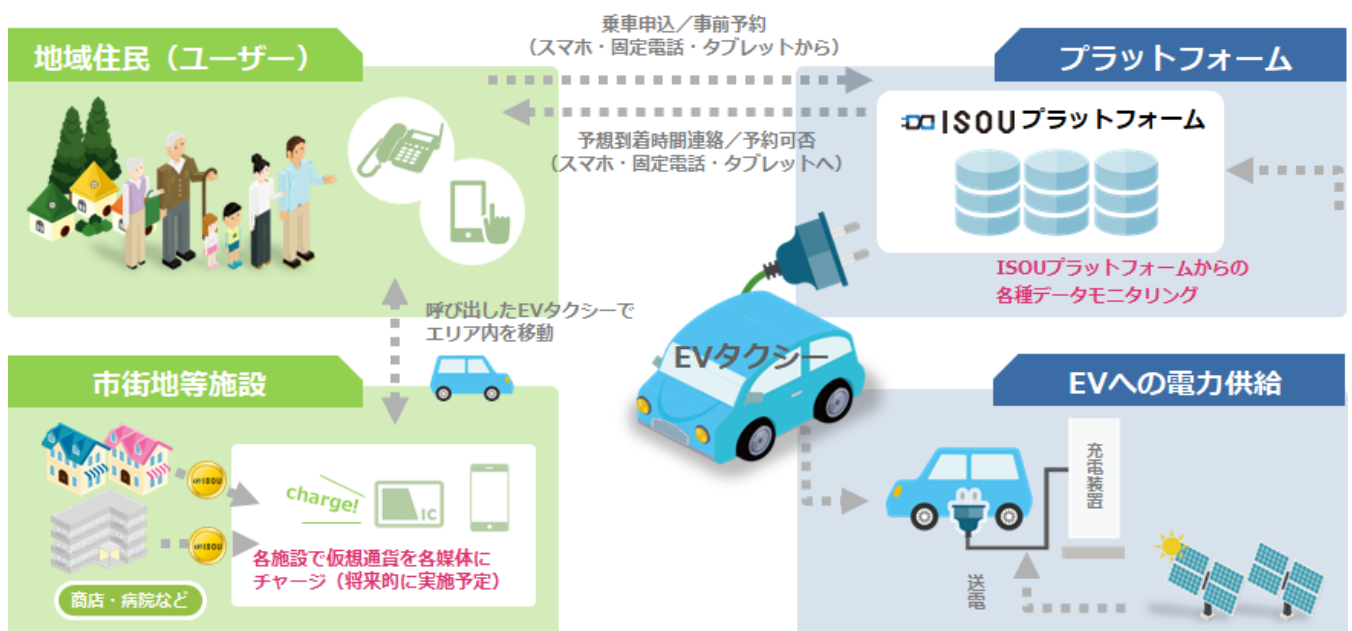
TIS、再生可能エネルギーを活用した官民連携の 地域 MaaS 実証実験を浜松市佐久間町で実施 ～ 国土交通省「日本版 MaaS」採択事業として 地産電源による電気自動車活用などを実証 ～

TIS インテックグループの TIS 株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役会長兼社長：桑野徹、以下：TIS）は、静岡県浜松市天竜区佐久間町（以下：佐久間町）において運営されている公共交通空白地有償運送事業のタクシー業務に、再生可能エネルギーを活用した電気自動車（以下：EV）による MaaS（Mobility as a Service）プラットフォームを提供する実証実験（以下：本実証実験）を、2020年9月16日から12月18日まで実施することを発表します。

本実証実験では、佐久間町の NPO 法人がんばらまいか佐久間（所在地：静岡県浜松市、代表：大見 芳、以下：がんばらまいか佐久間）、浜松市および電気の地産地消を推進する株式会社浜松新電力（本社：静岡県浜松市、代表取締役：平形 直人 以下：浜松新電力）および TIS が参加する「浜松佐久間 MaaS 推進協議会」が、EV でのタクシー運行を行います。EV は、佐久間町に設置した太陽光パネルで発電した電力などを利用して運行することで、過疎地域交通の利便性の向上と運用業務の合理化、再生可能エネルギーの地産地消を目指します。

TIS は、過疎地域の次世代交通・エネルギー問題の解決を目指し 2019 年 8 月に北海道厚沢部町で行った実証実験「ISOU PROJECT」で使用した MaaS プラットフォームを改良し、本実証実験で活用されるタクシーのオンデマンド配車システムを提供します。

<佐久間町での実証実験イメージ>



本実証実験では、CTI（音声自動応答電話）を活用したオンデマンド・前日乗車予約の仕組みによって、高齢者などにも利用しやすい環境を整え、電話の音声ガイダンス利用が困難な難聴者向けにはタブレット端末の操作でタクシーを呼び出せる「浜松佐久間 MaaS かんたんアプリ（仮称）」の開発と提供を順次行う予定です。また、呼び出し・予約・配車をシステムで受付けることで、従来のオペレーター対応コストを削減します。

また、本実証実験は、経済産業省・国土交通省の令和2年度「スマートモビリティチャレンジ」プロジェクト内の地域の課題解決に資する MaaS のモデル構築を図る「日本版 MaaS 推進・支援事業」※1に採択されています。特に過疎地域における MaaS 導入モデルを構築し、全国で同様の課題を持つ自治体・地域の課題解決を進めます。

さらに、佐久間町が属する浜松市天竜区は「浜松市エネルギービジョン※2」に基づき浜松市が進めるスマートプロジェクトのモデル地区の一つであり、TIS は本実証実験を通して地域内のスマートコミュニティ事業・創エネ事業などの実現可能性の検証と、浜松市と協力して地域のエネルギー事業に対する支援の検討も行います。

「浜松佐久間 MaaS 推進協議会」では、本実証実験後に、佐久間町での本格サービス展開の有無、他自治体への同サービスの展開を視野に入れた事業化、および自治体と連携した再生可能エネルギーなどのエネルギー地産地消を通してのエネルギー政策の立案・支援を進めていきます。

※1：過疎地における移動手段の確保や観光地での二次交通の確保といった地域の課題解決にも資する重要な手段として、MaaS の早急な全国普及を図ることを目的とし、そのモデルとなりうる実証を支援する事業

※2：「エネルギーに対する不安のない強靱で低炭素な社会『エネルギー・スマートシティ』」の実現を目指す、浜松市のエネルギー政策の方向性を明らかにしたもの

■背景

佐久間町は 65 歳以上人口の割合が 60.5%と、市内でも特に高齢化・過疎化の進む地域で、不採算性から公共交通事業者・民間タクシー事業者とも廃止・撤退が相次ぎ、地域住民の移動手段が十分でない状況です。これを受けて、がんばらまいか佐久間では、浜松市と連携して 2007 年より有人オペレーターが利用受付を行う公共交通空白地有償運送事業を運営しています。しかし、利用者減による事業採算性の悪化やサービスに係る人材の不足といった課題を抱え、地域のセーフティネットとして、実情に沿ったサービス利便性の向上と効率的な運営の実現が急務となっていました。

そこで、本実証実験では、TIS が提供する MaaS プラットフォームを公共交通空白地有償運送事業に導入することで、この課題解決を目指します。

■本実証実験の概要

- ・実施期間： 2020 年 9 月 16 日（水）～12 月 18 日（金）
- ・運行時間帯：オンデマンド運行 7：00～16：00
- ・対象地区： 静岡県浜松市天竜区佐久間町（地域住民：3,134 名 2020 年 4 月 1 日現在）
- ・使用車両： NISSAN E-NV200（7 名乗りワゴン）
- ・概要：TIS が、MaaS プラットフォーム、移送サービスに使う電気自動車（EV）、地域通貨発券端末や乗車時に必要なスマートフォン向けのアプリや IC カードなどを無償で貸し出し提供します。また、佐久間町の既存施設の EV 充電スタンドや太陽光パネルなどを活用して再生可能エネルギーを中心としたエネルギーの地産地消に向けた検証・検討も行います。

- ・利用方法：地域住民は、カード会員またはアプリ会員に登録して利用
- カード会員の場合：会員が専用窓口で電話をかけ、音声ガイダンスに沿って呼び出し地点や希望時間帯をプッシュホンで入力し、タクシーを呼び出します。2019年8月の北海道厚沢部町での実証実験の利用者の声を踏まえ、最短3ステップ^{※3}でタクシー呼び出しが可能となるシンプルな操作性を実現しています。
- アプリ会員の場合：会員が自身の所持するスマートフォンに専用アプリをダウンロードし、アプリから現在地・目的地を指定することでタクシーを呼び出します。

※3：当日、自宅からの呼び出しの場合

■報道関係者向けのオンライン説明会について

本実証実験について、以下日程で報道関係者向けのオンライン説明会を予定しています。

<「浜松佐久間 MaaS 実証実験」記者説明会>

- ・日時：9月15日（火）13：00～14：00
- ・方法：オンライン形式
- ・内容：本実証実験に関する概要説明を以下のプログラムで実施します。
 1. 事業内容の説明、佐久間町の課題
(TIS株式会社：エネルギービジネス企画部長 砂山 広行)
 2. 佐久間町の紹介&浜松市佐久間 MaaS に対する期待
(NPO 法人がんばらまいか佐久間：理事長 大見 芳)
 3. 持続可能な公共交通の実現とエネルギー地産地消の推進について
(浜松市：産業部エネルギー政策課課長補佐 松野 英男)
(浜松市：都市整備部交通政策課主任 牧野 嘉文)

ご参加希望の報道関係者は文末のお問い合わせ先までご連絡下さい。

■現地での出発式について

地域住民へのサービス提供開始にあわせ、現地にて出発式を行います。

<「浜松佐久間 MaaS 実証実験」出発式>

- ・日時：9月16日（水）9：00～9：15
- ・場所：静岡県浜松市天竜区佐久間町佐久間 429-1
(がんばらまいか佐久間事務所駐車場周辺)
- ・内容：挨拶、代表者による「浜松佐久間 MaaS」呼び出しデモンストレーション（予定）
- ・雨天決行、荒天中止

※式終了後に取材時間を設ける予定です。ご参加希望の報道関係者は文末のお問い合わせ先にご連絡下さい。

■「ISOU PROJECT」について

「ISOU PROJECT」は、最新技術で地方創生（特に過疎地域を中心）に貢献すべく、超高齢社会における地域交通、地域の商業を始めとする活性化、そしてエネルギーの在り方の課題に着目しました。本プロジェクトは、自治体が地域住民とともに持続可能な社会実現のために、自立・自走できる交通インフラ、地域電力（新電力）、エコ社会の構築を支援することを目的として、電気自動車（EV）・再生エネルギー・ブロックチェーン等の最新技術・プラットフォームを提供します。

地域が持つ再生可能エネルギー由来の電源で電気自動車を走らせ、家族の送迎や毎日の通勤・通学、公共施設やスーパーへの買い物など、住民の方が生活の足として利用する取り組みです。このサービスを通して、地域の活性化とエネルギーの地産地消を促進します。

「ISOU PROJECT」の詳細については以下 URL をご参照下さい。

<https://www.tis.jp/special/ISOUPROJECT/>

北海道厚沢部町で実証実験については以下 URL をご参照下さい。

https://www.tis.co.jp/news/2019/tis_info/20191024_1.html

TIS 株式会社について (https://www.tis.co.jp/)

TIS インテックグループの TIS は、SI・受託開発に加え、データセンターやクラウドなどサービス型の IT ソリューションを多数用意しています。同時に、中国・ASEAN 地域を中心としたグローバルサポート体制も整え、金融、製造、流通/サービス、公共、通信などさまざまな業界で 3000 社以上のビジネスパートナーとして、お客様の事業の成長に貢献しています。

TIS インテックグループについて

TIS インテックグループはグループ社員約 2 万人が一体となって、強みを活かし、国内および海外の金融・製造・サービス・公共など多くのお客様のビジネスを支える IT サービスを提供しています。デジタル技術を駆使したムーバーとして、未来の景色に鮮やかな彩りをつけていきます。

※ 記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

※ 記載されている情報は、発表日現在のものです。最新の情報とは異なる場合がありますのでご了承ください。

【本件に関するお問い合わせ先】

◆報道関係からのお問い合わせ先

TIS 株式会社 企画本部 コーポレートコミュニケーション部 浄土寺/高橋

TEL : 03-5337-4232 E-mail : tis_pr@ml.tis.co.jp

◆本件に関するお問い合わせ先

TIS 株式会社 インダストリー事業統括本部 産業公共事業本部

エネルギービジネス事業部 エネルギービジネス企画営業部

TEL : 03-5337-4544 E-mail : energy-sales@ml.tis.co.jp